

回数	主題	主な学習内容	授業形態
専門分野 地域・在宅看護論		科目名：地域・在宅看護論 I (暮らしを支える看護)	講師：専任教員 2 単位 30 時間 (1 年次後期)
学習目標		1. 個人・家族を支える環境としての地域を理解する 2. 個人・家族の暮らしを理解する 3. 自らの健康を維持できるよう継続的に暮らしを支える看護を理解する	
1	1. 地域で生活する人々の理解	1) 個人の生活構造と地域特性 2) 健康支援活動 (ヘルプ ロモーション、プライマリヘルスケア)	講義
2	2. 家族の役割	1) 家族のとらえ方      2) 家族の機能と役割	講義
3	3. 地域の生活環境が健康に与える影響	1) 文化的環境   2) 社会的環境   3) 自然環境	講義
4		テーマ「都市部と山間部の地域・生活環境の違いと私や隣の町の暮らしの実際を知る」グループ課題調べ学習・発表	GW
5			
6	4. 地域・在宅看護論の対象	1) 個人・家族、集団、組織、地域 2) 健康状態 (健康の良い状態～終末期まで) 3) 発達段階 (胎児期～老年期まで)	講義
7		テーマ「私の町に暮らす人々の“支え合い暮らし”を学ぶ」 地域で暮らす人々の暮らしの語り・インタビュー・ライフヒストリー等に基づき対象の発達・健康状態を発表	GW
8	5. 健康と暮らしを支える看護	1) 地域包括ケアシステムにおける看護の役割 2) 自助、互助、共助、公助の意義と役割	講義
9		3) 家族を支える看護 4) 多職種連携、協働の意義と方法	講義
10	6. 看護が提供される多様な場の理解	1) 対象に応じた様々な看護の提供の場と看護の機能	講義
11		テーマ「健康を維持できるよう継続的に暮らしを支える看護」 グループ課題調べ学習・発表	GW
12	7. 地域・在宅看護論に関連する法制度と施策	1) 医療保険、介護保険制度と施策 2) 訪問看護における法と制度	講義
13		3) 権利保障に関する法や施策 4) 各保健、障がい者等に関する法と施策	講義
14	8. 地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント	1) 自己決定支援 (ACP 含む) 2) ケアマネジメント 3) 保健行動と行動変容 4) インフォーマルネットワークの維持	講義

15	終講試験	筆記試験・まとめ	
履修上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 地域特性、健康支援活動についてはフィールドワーク等を通して地域の実際を理解する</li> <li>2. グループ発表する調べ学習は個人の学習責任を果たすよう努める。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) テキスト</li> <li>2) 参考書</li> </ul>		1) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 1	
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 筆記試験</li> <li>2. 学習成果物</li> </ul>	

専門分野 地域・在宅看護論	科目名：地域・在宅看護論Ⅱ (在宅療養を支える看護)	講師： 外部講師（看護師） 専任教員	1 単位 15 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 地域における在宅看護を理解する 2. 在宅看護における看護の機能と役割を理解する		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 地域における在宅看護	1) 在宅看護の位置づけ 2) 在宅看護が提供される場	講義
2	2. 社会の変化と在宅看護	1) 在宅看護を必要とする社会的背景 2) 社会の要請から求められる看護	講義
3	3. 在宅看護の対象と目的	1) 在宅看護の対象とその特徴 2) 在宅看護の目的	講義
4	4. 在宅看護の機能と役割	1) 在宅看護の機能 2) 在宅看護の役割	講義
5	5. 在宅における自己決定 と生活の自立支援	1) 個人の尊厳の尊重 2) 自己決定権 3) 個人情報保護	講義
6	6. 介護している家族の理 解と健康支援	1) 在宅療養者の想いと家族介護者の想い 2) 介護している家族のアセスメント 3) 家族関係の調整 4) 介護方法の指導 5) 介護している家族の健康支援	講義
7	7. 在宅看護にかかわる法 令・制度の活用	【介護保険・医療保険適応の事例紹介】 * 介入場面にに基づき在宅看護における法令制度の具体的 活用法・ケアマネジメントの基本を学ぶ	GW 講義
8	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点z	1. 「地域在宅看護論Ⅰ」の人々の暮らしや環境の学習内容と関連づけ、人々の暮らしを支えるための地域・在宅看護の目的とその機能と役割について学習を深める。 2. 「7. 在宅看護に関わる法令・制度の活用」については、事例を通して具体的活用方法を学ぶ。		
1) テキスト 2) 参考書	1) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 2) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論2		
評価方法	筆記試験		

専門分野 地域・在宅看護論		科目名：地域・在宅看護援助技術	講師：外部講師（看護師） 臨床看護師	1単位 30時間 (2年次前期)
学習目標		1. 在宅看護活動を支えるコミュニケーション技術を習得する 2. 在宅看護に共通する技術を習得する 3. 在宅における医療管理を必要とする対象の看護について理解する		
回数	主題	主な学習内容		授業形態
1	1. 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション	1) 療養者や家族を支援するためのコミュニケーション技術 2) 信頼関係を築くためのコミュニケーションのポイント		講義
2		在宅看護の活動を支えるコミュニケーションの実際 「訪問時マナー」		演習 (実習室)
3	2. 在宅看護に必要な技法	1) ヘルスアセスメント① *在宅ケアにおけるヘルスアセスメントの対象、観察視点、アセスメント実際、時期と進め方、アセスメント共有と活用		講義
4		1) ヘルスアセスメント②		講義 (実習室)
5		2) 自立支援技術 3) 安全を守る技術		講義 (実習室)
6		4) 感染予防 5) 災害に対する準備と対応		講義 (実習室)
7	3. 在宅における医療管理を必要とする対象の看護	1) 褥瘡の予防とケア		講義
8		2) 排便コントロール * 「摘便」 基本的技術演習を含む		講義
9		3) 尿道留置カテーテル 4) ストーマ (人工肛門・人工膀胱)		演習 (実習室)
10		5) 経管栄養法 6) 在宅中心静脈法 (HPN) ・在宅末梢点滴静脈法		講義 (実習室)
11		7) 非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) 8) 在宅酸素療法 (HOT) 9) 在宅人工呼吸療法 (HMV) と排痰法 (在宅吸引を含む)		講義 (実習室)
12		10) 薬の自己管理支援 (服薬・自己注射管理を含む)		講義 (実習室)
13		11) 疼痛緩和 *在宅における痛みのアセスメントと疼痛緩和目標設定とマネジメント技術		講義 (実習室)

14		1 2) 腹膜透析 * 社会生活を送る対象のアセスメントと在宅導入支援の看護、療養者への社会保障支援	講義
15	終講試験	筆記試験・まとめ	
履修上の留意点		1. 教育内容の1.については「訪問時の基本マナー」を含む。 2. 具体的事例や使用物品実物提示から理解を深める。 3. 本科目内、在宅看護演習で活用する「摘便」の基本的技術を学習する 4. 第10回「経管栄養法」では、胃瘻造設後の在宅における胃瘻管理と経管栄養投与方法と管理について学習する。	
1) テキスト 2) 参考書		1) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 2) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論2 2) メジカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	
評価方法		筆記試験	

専門分野 地域・在宅看護論	科目名:地域・在宅で療養する対象の看護	講師:臨床看護師 訪問看護師	1単位 30時間 (2年次前期)
学習目標	1. 在宅で療養する対象への看護の展開方法の特徴を理解する 2. 療養の場の移行に伴う看護を理解する 3. 在宅で療養する対象の状況に合わせた看護を理解する		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 在宅看護の展開方法	1) 情報収集とアセスメント ・在宅における情報整理ポイントと実際の情報収集方法	講義
2		2) 家族機能評価	講義
3		3) 在宅看護の目標設定と看護計画 ・多職種で共有する看護方針・目標・計画の実際 ・問題着眼型・リスク着眼型・強み発見型の判断思考	講義
4		4) 実施・評価 訪問看護提供・看護記録・評価の実際と説明責任	講義
5	2. 療養生活の中で起こる 問題と対策	1) 在宅看護に潜むリスクと安全性確保の実際 ・医療継続上起こるリスク ・療養環境不備によるリスク ・療養者-家族関係上のリスク・緊急・災害時の自治体/地域連携	講義
6		2) 在宅看護における法的問題と支援の実際】 ・自己決定権と支援 ・在宅における虐待問題と対策	講義
7	3. 療養の場の移行に伴う看護	1) 退院支援・退院調整 2) 入退院時における医療機関との連携 3) 入退所時における施設との連携	講義
8	4. 訪問看護ステーション 利用のしくみ	1) サービス利用までの流れ 2) 訪問看護サービスの提供	講義
9	5. 在宅療養者の状態に 応じた看護	1) 在宅で療養する高齢者とその家族 * 高齢者世帯、認知症、パーキンソン病を抱える対象の在宅看護	講義
10		2) 在宅で療養する小児とその家族 * 先天性脳障害、精神運動発達遅滞を抱える小児への在宅看護	講義
11		3) 精神障害で療養する対象者とその家族 * 統合失調症、うつ病を抱える対象の在宅看護	講義
12		4) 難病で療養する対象者とその家族 * 筋萎縮性側索硬化症 ALS 療養中の対象の在宅看護	講義
13		5) 慢性疾患で療養する対象者とその家族 * 脊髄損傷、糖尿病を抱える対象の在宅看護	講義

14		6) 終末期にある対象者とその家族 * がん終末期段階にある対象の在宅看護	講義
15		終講試験・まとめ	
履修上の留意点		1. 専門基礎分野、各専門分野の基礎知識と地域在宅で療養する対象の状態を関連づけ、地域・在宅で療養する対象への看護について学習を深める。	
1) テキスト 2) 参考書		1) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 2) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 2	
評価方法		筆記試験	

専門分野 地域・在宅看護論	科目名:地域・在宅看護論演習	講師: 専任教員	1 単位 30 時間 (2 年次後期)
学習目標	1. 在宅の対象者への日常生活援助と対象の機能の維持・向上に向けた支援を理解する 2. 在宅看護の展開方法を習得する		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 事例による 在宅看護過程の展開	1) 情報整理方法 2) 事例紹介 ・グループ1: パーキンソン病を抱える対象 ・グループ2: ALS を抱える対象	講義 GW
2 3		3) アセスメントと生活上の課題の明確化	講義 GW
4		4) 看護目標設定	講義 GW
5 6		5) 看護計画立案	講義 GW
7		6) 看護実施と看護評価	講義 GW
8		2. 在宅における 生活支援の方法	1) 日常生活の援助 (1) 呼吸に関する在宅看護 (2) 清潔に関する在宅看護
9	(3) 食生活・嚥下に関する在宅看護		講義 GW
10	(4) 排泄に関する在宅看護 *対象に応じた技術演習 (5) 移動・移乗に関する在宅看護		講義 GW
11	2) 介護用品の活用 *介護用品の活用の実際		講義 GW
12			講義 GW
13	3. 在宅における身体機能の維持向上に向けた援助	1) 身体機能の評価 *在宅における身体機能評価 対象に必要なヘルスアセスメントおよびフィジカルアセスメント	講義 GW
14		2) 家庭で行うリハビリテーション 3) 多職種との連携	講義 GW
15	終講試験	筆記試験・まとめ	
履修上の留意点	1. 在宅看護技術で学習した「摘便」の対象に応じた看護演習を行う 2. 演習事例については在宅に多い事例を中心に学ぶ 3. 事例に基づきケア用品(服薬箱など)の作成学習過程から看護の創意工夫を学ぶ 4. 訪問看護に求められる対象に寄り添う態度を土台に置き、看護計画に沿って看護実践を学ぶロールプレイを取り入れる		
1) テキスト 2) 参考書	1) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 1 2) 医学書院 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 2 2) メジカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術		
評価方法	1. 終講試験 2. 看護過程の展開の実際 学習成果物		